まちの将来像3つの視点における取り組みの方向性と実現化メニュー

取り組みの方向性

こころとからだの健康を育むまち

- ●「ウォーカブル」で「健康になる」を実現する
- 歩きたくなる魅力・環境づくり(街路の階層的構造等)
- 心の健康増進(交流、レジャー、禅、マインドフルネスなど)
- スポーツや健康づくりを通じたクオリティ・オブ・ライフの向上
- 競技スポーツだけでなく、「遊ぶ」「体験する」「学ぶ」等、スポーツの領域拡大
- 鎌倉の自然環境を活用するアクティビティの検討
- スポーツ人材の育成 (子供、次代のアスリート、次代の指導者)
- スポーツや健康づくりを通じたコミュニティの創出・育成
- 国・県の施策(ヘルスケア・ニューフロンティア)との連携、大学・専門機関との連携

イノベーションを生み出すまち

- 新しい働き方に対応した環境づくり(テレワーク、職住近接、職・レジャー・スポーツの近接)
- 企業間交流の促進、コミュニティ形成支援
- 最先端のテクノロジーを用いたウェルネスを実感できる新しい暮らしの場づくり
- 村岡地区や新駅と一体で神奈川県、藤沢市、鎌倉市の新しい産業拠点を形成
- 新産業創出・人材育成の場と仕組みづくり
- 新しい雇用を生むまちづくり
- 国・県の施策(ヘルスケア・ニューフロンティア)との連携、大学・専門機関との連携
- 行政・地域のフィールドを活用した民間企業等の先進的なサービス提供

あらゆる人と環境にやさしいまち

- 交通安全性の向上
- コミュニティで取り組む防災・防犯
- まちの機能(緑等)を活用した健康づくり
- 災害に強いハード整備(建物・設備・ライフライン・通信基盤等)
- 持続可能なエネルギー利用
- 次世代インフラへの対応
- コミュニティ形成・健康増進に貢献する屋外空間
- 賑わい・交流を促す空間づくり(沿道用途やオープンスペースの配慮)
- 建物とまち並みの一体性創出
- 生態系や歴史に配慮したランドスケープデザイン
- グリーンインフラの活用(水循環機能を持つ緑地空間等の配置)
- 地区全体の低炭素化・脱炭素化
- 多世代、多様な方のコミュニティ活動参加を促す仕組みづくり
- コミュニティの形成や交流を促す空間、施設整備と活用
- エリアマネジメントによる多種多様なコミュニティ形成促進の取組
- 世代・国籍・障害等の有無にとらわれず誰もが生活できる場の構築
- 多文化が共生する環境整備(外国人も暮らしやすい環境整備)
- 住む人、働く人、訪れる人、民間、行政がまちづくりに参加し、担い手となるエリアマネジメント 組織(地域のニーズをリアルタイムで把握し、まちづくりに反映)
- 柔軟性、可変性をもつ土地利用・基盤・建物・屋外空間の整備

こころとからだの健康を育むまち

人々が日常的に健康づくりやスポーツに親しみ、こころとからだが健康で笑顔になる。

取り組みの方向性

- ■「ウォーカブル |で「健康になる |を実現する
- 歩きたくなる魅力・環境づくり(街路の階層的構造等)

実現化メニュー

- 歩行者優先の快適な空間の創出
- > 歩行者空間沿いの賑わい創出

ウェルネスをテーマとする地域のにぎわいに資する機能の集積

▶ 歩く楽しみを生み出す仕掛けの導入

> 楽しみながら歩くことができる緑のネットワーク整備

> 緑と建築が一体となった街並み整備

実現化メニューの具体的内容(例示)

- 民地における歩行者空間の確保
- 街区内の歩行者専用道路の確保
- 道路や街区内の歩行者専用道路沿道における賑わい創出に資する機能 (商業機能等)の導入
- 景観・歩行者に配慮した軒先の装飾(植物含む)
- ストリートファニチャーやパブリックアートの設置
- スポーツやアウトドアをテーマとする、体験もできる、物販施設の導入
- ファームパークの導入(農体験、食品作り体験、食育、BBO、グランピング、 キャンプ)
- スポーツエンターテイメントプログラムの導入: 遊びながらスポーツを体験する・
- にぎわいに資するイベントの実施:マルシェ等
- 富士山を眺めることができる撮影スポットの整備
- 地区内店舗で使用できるポイントが貯まる「チェックインポイント」(店舗等へ 来店するとアプリ経由でポイントが貯まる仕組み)の店内・沿道への設置
- 歩く際の振動を活用した発電歩道の屋内外への設置及び発電量の可視 化·共有
- 複数の緑地整備及びそれらをつなぐ緑のネットワーク整備(生態系ネットワー ク形成、回遊する楽しみ創出)
- 自然の見える化に関する機能の導入(センサーによる野鳥数の計測等)
- 鎌倉市の既存森林の主要構成樹種や市の花(リンドウ)や市の木(ヤマ ザクラ) 等の植樹
- 地区周辺、地区内の公園や調整地の緑が連続する空間の確保
- ⇒建物正面や屋外空間の緑の創出に対するデザインコードの設定・適用

例:屋上・壁面緑化や低層部の緑化による緑の連続性、 角地などのシンボルになる空間への樹木の植樹 等

⇒敷地単位の十分な緑地確保(高い緑化率の目標値設定)



シンボル道路 イメージ (快適な歩行者空間と沿道の賑わい施設)



開放感のある歩行者空間



緑のネットワーク イメージ



緑と一体となった施設イメージ (都市公園内に立地する施設)

人々が日常的に健康づくりやスポーツに親しみ、こころとからだが健康で笑顔になる。

取り組みの方向性

- 心の健康増進(交流、レジャー、禅、マインドフルネスなど)
- スポーツや健康づくりを通じたクオリティ・オブ・ライフの向上
- 競技スポーツだけでなく、「遊ぶ」「体験する」「学ぶ」等、スポーツ の領域拡大
- 鎌倉の自然環境を活用するアクティビティの検討

実現化メニュー

▶ 屋外空間を活用した誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる機会と場 の提供

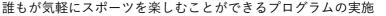
▶ 子どもの育成・アクティブシニアの人材育成と活躍できる場の提供

> スポーツを通じた鎌倉の自然環境を楽しむことができる拠点の整備

実現化メニューの具体的内容(例示)

- フットサル、ミニバスケ、アウトドアフィットネス、ボルダリングやヨガ等を行うことができ る環境の整備とプログラムの実施
- 禅文化に根差した瞑想・マインドフルネスプログラムと脳波等のデータ解析プログ ラムの実施
- パブリックビューイングや交流活動にも活用できるスポーツカフェ・バー等の設置
- ウェルネスを体験し学べるプログラムの実施
 - 例:農体験、食品づくり体験、食育等
- 深沢を拠点とした鎌倉の自然環境を楽しむことができるプログラムの実施
 - 例:深沢地域の自然環境を学ぶ生涯学習環境の提供、 自主研究グループの育成
- 鎌倉エコツーリズム拠点の整備(ランニング・サイクルステーション等)・情報発
- 深沢を拠点とした鎌倉の自然環境を楽しむことができるプログラムの実施 例:深沢地域の自然環境を学ぶ生涯学習環境の提供、 自主研究グループの育成







自然環境を学ぶプログラム等の実施

- スポーツ人材の育成 (子供、次代のアスリート、次代の指導 施設やグラウンド等)
- スポーツや健康づくりを通じたコミュニティの創出・育成
- > こころとからだの健康を育む拠点づくり(多目的に活用可能なアリーナ的
- スポーツ・イベント・エンターテイメント等多目的な利用を想定した施設整備とイベ ント時や貸出時以外の一般開放
- 市内のスポーツ交流拠点の場の整備

例:総合型スポーツクラブの設立、スポーツ関連プログラムの実施、 指導者育成·交流、



多目的アリーナ



スポーツ関連プログラムの実施



スポーツ等を通じたコミュニティ形成

人々が日常的に健康づくりやスポーツに親しみ、こころとからだが健康で笑顔になる。

取り組みの方向性

■ 国・県の施策(ヘルスケア・ニューフロンティア)との連携、大学・ 専門機関との連携

実現化メニュー

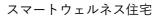
▶ 健康になる暮らしの場の整備(住めば住むほど健康になり、多世代が住まい交流する)

> ヘルスケアシステム・健康プログラムの導入

実現化メニューの具体的内容(例示)

- スマートウェルネス住宅、シニア向け住宅の整備
- 居住者のバイタルデータを活用した健康指導の実施や健康・運動プログラムの 実施
- 健康に資する拠点(ラボ)の整備
- ICT・AIを活用した健康指導・管理サービスや遠隔医療サービスの提供







スマートフォン等を介した バイタルデータや睡眠の質等の情報の 管理・活用

まちの将来像3つの視点 イノベーションを生み出すまち

産業、地域活動など様々な分野で豊かな人材が交流し、新たな価値、産業、技術を生み出す。

取り組みの方向性

■ 新しい働き方に対応した環境づくり(テレワーク、職住近接、職・ レジャー・スポーツの近接)

実現化メニュー

- ▶ 鎌倉型ワークスタイルを体現し、内外に発信するオフィス機能の導入
- ▶ テクノロジーとウェルネスをテーマとする居住・滞在環境の整備

実現化メニューの具体的内容(例示)

- シェアオフィス、インキュベーションオフィス、ファブラボの整備
- スマートウェルネス住宅の整備
- 出張や研修・交流目的のワーカー・研究者・クリエイター等が利用するホテル、 サービスアパートメント(中長期の滞在も視野)の整備





テレワーク等に対応したオフィス機能

■ 企業間交流の促進、コミュニティ形成支援

- ▶ 交流・マッチング・ラボ機能の導入 (深沢型リビングラボの実現)
- ▶ 産業支援施設等を活用したビジネスコミュニティの形成

- 居住者・来街者・ワーカーの交流の場の創出
- ニーズとサービス、学生と企業、企業と企業、投資家、アイデア・機会・投資等が 出会う場の創出
- ビジネスコミュニティサロンとして機能する図書館の整備



リビングラボ イメージ

■ 最先端のテクノロジーを用いたウェルネスを実感できる 新しい暮らしの場づくり

実現化メニュー

> テクノロジーとウェルネスをテーマとする居住・滞在環境の整備(再掲)

実現化メニューの具体的内容(例示)

- スマートウェルネス住宅等の整備
- 出張や研修・交流目的のワーカー・研究者・クリエイター等が利用するホテル、 サービスアパートメント(中長期の滞在も視野)の整備

- 村岡地区や新駅と一体で神奈川県、藤沢市、鎌倉市の 新しい産業拠点を形成
- 新産業創出・人材育成の場と仕組みづくり
- 新しい雇用を生むまちづくり
- 国・県の施策(ヘルスケア・ニューフロンティア)との連携、大学・ 専門機関との連携
- 行政・地域のフィールドを活用した民間企業等の先進的な サービス提供

- ▶ ウェルネスを実現するテクノロジーの「オープンイノベーション」拠点の創出
- ▶ 鎌倉型ワークスタイルを体現し、内外に発信するオフィス機能の導入(再掲)
- ▶ 交流・マッチング・ラボ機能の導入(深沢型リビングラボの実現)(再場)
- > 大学・専門機関との連携
- ▶ 新製品、新技術の実験的な導入、実証実験地区・モデル地区化(ビジネスPR・ショーケース機能の導入)
- > データ利活用の先進地域づくり

- ウェルネスに関する企業・人材・アイデア等が集まり、新たなビジネス、ライフ&タウンスタイルを創出するための場としくみの創出
- スタートアップ支援プログラム・アクセラレータプログラムの実施
- シェアオフィス、インキュベーションオフィス、ファブラボの導入
- 居住者・来街者・ワーカーの交流の場の創出
- ニーズとサービス、学生と企業、企業と企業、投資家、アイデア・機会・投資等が 出会う場の創出
- ビジネスコミュニティサロンとして機能する図書館の整備
- 地区内や周辺企業の製品・テクノロジーの展示・発表
- 科学館や体験型施設の展開(まち全体のミュージアム・ショールーム化)
- 居住者・来訪者・ワーカーの生活・医療・福祉に関する情報を収集しまちづくりや 産業に活かす仕組みづくり
- 人の流れを解析し、まちづくりや産業に活かす仕組みづくり



スタートアップ支援プログラム等の実施、 様々なものが出会う場の創出



シェアオフィスイメージ

■ 交通安全性の向上

実現化メニュー

> ユニバーサルデザインによるまちづくり

実現化メニューの具体的内容(例示)

- 高齢者や車いす利用者をはじめ、誰にとってもスムーズな移動導線の確保
- シームレスに移動できる新たなモビリティシステムの導入





ユニバーサルデザインによるまちづくり

■ コミュニティで取り組む防災・防犯

▶ 先進技術とコミュニティを組み合わせた防犯システムの導入

> ソフト面での防災・防犯性の向上(防災の担い手としての居住者、従業者、企業)

- 防犯カメラの設置と、高度な自動画像解析による事故、犯罪等の未然防止の 仕組み導入
 - 例:地震検知システム、ロボティクスによる防犯、画像解析による不審者検出 河川氾濫情報の見える化と地域内への連絡システムの導入等
- 居住者、従業者の防災リテラシー、防災スキルの向上、コミュニティ形成 ⇒リアルとバーチャルを活用した防災知識などの普及、防災組織の設立、防災 訓練実施
- 地区内外に立地する民間施設と市の防災連携協定の締結







ロボティクスによる防犯

防災訓練 (地震体験車やVRなど導入)

- まちの機能(緑等)を活用した健康づくり
- コミュニティ形成・健康増進に貢献する屋外空間

▶ 緑のネットワーク整備(再掲)

- 複数の緑地整備及びそれらをつなぐ緑のネットワーク整備 ⇒生態系ネットワーク形成、回遊する楽しみ創出
- 敷地単位の十分な緑地確保(高い緑化率の目標値設定)
- オープンスペースの確保
- 健康遊具やウォーキングやランニングの参考になるピクトサイン(起点からの距離表示等)の設置

あらゆる人と環境にやさしいまち

鎌倉の自然や歴史・文化を維持し、居心地が良く、多様な人々が安心して暮らしつづける。

取り組みの方向性

■ 災害に強いハード整備(建物・設備・ライフライン・通信基盤等)

実現化メニュー

災害に備えた、大規模災害時においてエネルギー供給・通信を維持できるインフラ・施設・空間整備

実現化メニューの具体的内容(例示)

- 施設の高度な防災性確保(最先端の制震・免震技術)
- 機能分担・役割に応じた施設・整備(一時避難場所や防災備蓄倉庫等)
- 災害時においても電力や熱供給が維持できるシステムの導入(非常用発電設備×コージェネレーションシステム(熱源より電力と熱を生産し供給するシステム)
- 災害時における避難行動に対する協力協定の締結
 - ⇒一部店舗の開放や、飲料水の提供等に関する方策を地区の他企業と協議





備蓄倉庫

非常用発電機

■ 持続可能なエネルギー利用

- > 街区単位のエネルギー供給システムの導入
- ▶ 効率的なエネルギーシステムの導入

- スマートグリッド (電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化できる送電網)の導入
- 街区単位のエネルギー融通システムの導入
- 省エネに資する施設整備(ZEB(ゼブ、Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称)、ZEH(ゼッチ、Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略称)等)
- コージェネレーションシステム (熱源より電力と熱を生産し供給するシステム) の 導入
- 再生可能エネルギー (太陽光発電等) の導入

■ 次世代インフラへの対応

> エネルギーインフラ・通信インフラの導入空間の確保

- 共同溝の整備
- 無料WIFI網の整備・活用 ⇒ 位置情報や属性等の情報を活用し、より回遊性を高めるまちづくりに活用

■ 賑わい・交流を促す空間づくり (沿道用途やオープンスペースの配慮)

- > 歩車分離の実現に資する空間の整備(再掲)
- > 歩行者空間沿いの賑わい創出(再掲)

- 民地における歩行者空間の確保・整備(再掲)
- 街区内の歩行者専用道路の整備(再掲)
- 道路や街区内の歩行者専用道路沿道における賑わい創出に資する機能(商業機能等)の導入(再掲)
- 景観・歩行者に配慮した軒先の装飾(植物含む)
- ストリートファニチャーやパブリックアートの設置(再掲)







実現化メニュー

実現化メニューの具体的内容(例示)

■ 建物とまち並みの一体性創出

> 建物とまち並みが一体となった景観の形成

● 建物正面や屋外空間のデザインコードの設定・適用

■ 生態系や歴史に配慮したランドスケープデザイン

> 生態系に配慮したランドスケープデザイン

- 周辺環境を含めた生態系の維持に寄与する空間整備
- 周辺緑地を含めた緑ネットワークの形成
- 地域種を基調とした緑地形成による生き物の保全

> 歴史への配慮

● 区域内の泣塔等に配慮した空間整備、デザインや素材の採用



自然と調和するランドスケープ

- グリーンインフラの活用(水循環機能を持つ緑地空間等の配置)
- > グリーンインフラの整備

グリーンインフラ技術を導入した整備

⇒雨庭(建物の屋根やアスファルト等に降った雨を集め一時的に蓄えたり地下へ浸透させたりする庭)、ストームウォータープランター (雨水の貯留機能のある植栽帯)、屋上緑化、駐車場緑化等





調整池のイメージ

■ 地区全体の低炭素化・脱炭素化

- ▶ 持続可能なエネルギー利用
- 効率的なエネルギーシステムの導入(再掲)

- スマートグリッド(電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化できる送電網)の導入(再掲)
- 街区単位のエネルギー融通システムの導入
- 省エネに資する施設整備(ZEB(ゼブ、Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称)、ZEH(ゼッチ、Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略称)等)
- コージェネレーションシステム (熱源より電力と熱を生産し供給するシステム) の 導入 (再掲)
- 再生可能エネルギー(太陽光発電等)の導入(再掲)

■ 多世代、多様な方のコミュニティ活動参加を促す仕組みづくり

実現化メニュー

> スポーツや健康増進プログラムへの参加によるコミュニティ形成

- 文化都市鎌倉のブランド・資源を活用した文化活動を通じたコミュニティ 形成
- ▶ 地域活動・ボランティア活動を通じたコミュニティ形成

実現化メニューの具体的内容(例示)

- フットサル、ミニバスケ、アウトドアフィットネス、ボルダリングやヨガ等のプログラムの 実施(再掲)
- 禅文化に根差した瞑想・マインドフルネスプログラムと脳波等のデータ解析プログラムの実施(再掲)
- パブリックビューイングや交流活動にも活用できるスポーツカフェ・バー等の設置 (再掲)
- 地区周辺の大学等との連携による、居住者を対象とする学習・文化活動の機会の提供
- 防災活動・防犯活動等を通じたコミュニティ形成
- 地区内に整備される子育て支援施設あるいは高齢者施設におけるボランティア 活動を通じたコミュニティ形成
- 子どもの居場所づくりを通じたコミュニティ形成





■ コミュニティの形成や交流を促す空間、施設整備と活用

■ エリアマネジメントによる多種多様なコミュニティ形成促進の取組

- ▶ シンボル道路沿道、路地、小径、公園・広場等がコミュニティ形成や交流を 促進する空間の計画、設計
- > エリアマネジメント活動を通じたコミュニティ形成

- パブリックスペースを活用したイベント開催
- ●情報インフラを活用したコミュニケーション、会議への参加や意思表示、イベント や活動の周知と参加
- 行政施設・公園・広場等の公共空間や地区内商業施設イベントスペースを活用した住民主体のイベント企画運営実施
- 公園緑地の共同維持管理の実施

まちの将来像3つの視点 あらゆる人と環境にやさしいまち

鎌倉の自然や歴史・文化を維持し、居心地が良く、多様な人々が安心して暮らしつづける。

取り組みの方向性

■ 世代・国籍・障害等の有無にとらわれず誰もが生活できる場の構築

実現化メニュー

▶ スポーツに加えて、健康増進、エリアマネジメント・文化・各種ボランティア 活動への参加を通じた、多様な世代、性別、ライフスタイルに渡るコミュニ ティ形成

実現化メニューの具体的内容(例示)

- ユニバーサルサービス研修の実施
- 高齢者や障がい者にやさしい地区づくりに関する検討会、表彰の実施
- 企業によるCSV(Creating Shared Value;共通価値の創造)イベントの実施

- 多文化が共生する環境整備(外国人も暮らしやすい環境整備)
- > 外国語表記のサイン整備
- > 多文化共生を支援する施設の整備
- 住む人、働く人、訪れる人、民間、行政がまちづくりに参加し、担い手となるエリアマネジメント組織 (地域のニーズをリアルタイムで把握し、まちづくりに反映)
- > エリアマネジメント組織の設立
- ▶ ICTを活用した地域のニーズの把握
- 柔軟性、可変性をもつ土地利用・基盤・建物・屋外空間の整備
- 柔軟性、可変性をもつ土地利用・基盤・建物・屋外空間の整備の考え方の共有

- デジタルサイネージを活用した、多言語情報伝達の実施
- ピクトグラムを多用した、誰にでも分かりやすい案内表示の掲示
- 多言語対応の窓口・インフォメーションセンター整備
- エリアマネジメント組織への参画、各種活動への参加
- 地区内の課題解決に資するSNSサービスの整備
- 考え方を踏まえた柔軟な土地利用等の実施